

教科教育専攻

●専攻の教育理念と教育目的

本専攻には、人文社会科学コース(国語領域、社会領域、英語領域)、自然科学コース(数学領域、理科領域、技術領域)、生活健康科学コース(家庭領域、保健体育領域)、芸術コース(音楽領域、美術領域)の4コースがあります。いずれのコースも、学士課程で培った資質能力を基礎とし、多様な形態の授業によって各自の問題意識を深めることで教育実践の場において教科指導に関する高度な実践力のある指導者の育成を目的としています。

そのため、学生は、各専門教科の教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ、専門教科の教育に関して高度な専門的知識を習得し、それをもとに専門教科の教育をめぐる現代的諸課題への対応方策を適切に考え、高い技能と豊かな表現力をもって教育活動に取り組む力を培います。

●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時必ず身につける能力)

<知識・理解>

1. 専門教科の教育に関して高度な専門的知識を習得している。

<技能>

2. 専門教科の教育にかかわる高い技能を身につけている。

<思考・判断・表現>

3. 教育をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考え、高度な実践力をもって教育活動に取り組むことができる。

<関心・意欲・態度>

4. 学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

教科教育専攻は、人文社会科学コース、自然科学コース、生活健康科学コース、芸術コースの4コースがあります。いずれのコースも、多様な形態の授業によって各自の問題意識を深めることで教育実践の場において教育研究の推進者となりうる教科指導に関する高度な実践力のある指導者の育成を目的としています。さらに、教科のみならず、道德教育、特別活動、総合的な学習等の(教科外活動における)専門的知識を有する、総合的な実践力の育成を目指しています。これまでの活動経験に基づいた専門分野への理解と関心をもち、教育実践の場で活躍したいという意欲を持っている人、教育現場での問題を解決するための実践的研究能力を高めた人を探求して

います。

●専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムの概要

専攻共通基礎科目として「教育の理論と実践」、「教育専門職者の哲学と倫理」を共通に履修します。コースにおける領域ごとに教科教育に関する科目、教科内容に関する科目、教育実践研究を選択履修します。それに加えて、教科外活動に活動等に関する科目や体験実習等の体験的科目が用意され、選択履修することもできます。これらで培った研究関心・学修成果を「課題研究」を通して修士論文に結実させます。